令和３年度 光鯱会本部　第２回　幹事会議事録	日時	令和３年　5 月　11 日（火）18:30～
	場所	Ｗｅｂ開催
	記録者	近藤
出席者：山川、近藤、内藤、河辺、佐藤、浅野、中野、田中（俊） 長谷川、木田、戸谷、成田、寺尾、林（学生幹事）		
欠席者：井戸田、夏目、田中（康）、木下、松本(浩)、犬飼、高村、渡辺、中村、魚住、金子、伊藤、 水野、鏡味、井上、		

Ⅰ　議題

１．総会・評議員会の運営方法

・山川幹事長より、前回幹事会で決まった総会・評議員会の報告有り。
（総会・懇親会は中止、評議員会は 5 月 15 日 10 時からで現在案内中等）

・ＺＯＯＭ会議で１～３号議案を上程し承認を取る予定。

・佐藤先生の研究室に井戸田先生と山川幹事長が集まる方針であったが、井戸田先生より、マイク等の通信環境的にもデメリットが多く、集まらない方が良いと言う意見が出た。
事前に何かしら事務的な打合せも必要かもと言う考えも有ったが、結論として集まる事は止め、通信環境トラブルに備え、井戸田先生と山川幹事長を共同ホストとする事で決定。

・司会は山川幹事長、議案説明は井戸田先生にて行う。

２．総会議案書最終確認

・総会議案書を画面共有し、佐藤先生より説明を頂いた。

・議案書のうち決算報告については、監事である井澤・川端先生に事前確認頂き、指摘があった部分を修正する。

・指摘に基づき修正した箇所や留意箇所が黄色着色されている資料にて説明を頂く。併せて、幹事会会計処理について、成田さんより画面共有しながら説明を頂いた。
特別会計では、鈴木禎次賞の協賛金として令和 2 年度に実際に 30 万円を受領していることから、これを記載することとし、令和 3 年度予算で協賛金を 130 万円計上予定だったが、ここから 30 万円減じた 100 万円としたい。また、会計監査員である井澤先生より、「光鯱会本部の令和 2 年度予算では幹事会費用として 22 万円を計上し、幹事会会計の中で秋の見学会費用を支出したのであれば、幹事会運営の内訳が記されている会計報告を添付されたい」等の指摘を頂いた点を修正した旨の説明有り。

・２号議案では、長谷川、木田、寺尾、戸谷さんの会員変更のお知らせを記載。

・３号議案の事業計画は山川幹事長にて確認済み。

・佐藤先生より、「井澤先生から予算案の中で執行予定のない金額は０計上する様に指示を受け、修正した」と説明があった。

・幹事会費用に関して、幹事会費用が０円なのが気になる所で、コロナが終わったらオンライン会議ではなくリアル会議として開催したいと思っているので、22 万円の半額でも良いので、計上して欲しい。予算案は井澤先生が見る所では無い気がする。ここは自由に修正して良いと思う。(山川幹事長)

・学生幹事林さんの謝金は事務経費で払えます。年 9 回の弁当代で換算し 13,500 円を支払う予定ですがいかがでしょう？(佐藤先生)

→キリの良い 15,000 円にしてはどうか？(山川幹事長)

→参加幹事の全員が異論無し。

→支出は事務費からではなく、実態に即して幹事会費用から支出する。昨年 15,000 円の支出として計上します。明日修正し送付します。（成田さん）

・令和２年度の見学会経費は幹事会費用から支出した。すると決算上見学会費用の執行がないように見えてしまうため、内訳である幹事会会計報告を評議会の資料に添付する。そもそも幹事会資料を出すことは疑問だが、監事からの指摘であることを踏まえ、「今年度限り」の扱いとしたい。（山川幹事長）

・少し混乱しているので報告をしておくと、「以前は、本部の下部組織として中部支部が存在し支部会計で様々処理していた経緯があり、幹事会会計はそれを引き継いでいる。そのため、支出項目についてわかりづらい表記になっている」ということをお知らせ致します。（成田さん）

・添付する資料との整合を取るため、見学会の「春」は「秋」に修正する。

・春の見学会予算は０円となっているが、「延期」と宣言していることから予算として 3 万円計上したい。

→幹事会の一定額を減じた金額の計上の話も含め、井戸田先生へ報告し修正します。（佐藤先生）

→その分繰越金は減ります。

３．光鯱会だより第３０号の概要確認

・構成案を画面共有しながら浅野さんより説明有り。（全８ページ構成）

・年２回（夏号、冬号）、光鯱会だよりを発行しており、昨年、夏号は８ページ、冬号は４ページの構成としている状況。学会賞(今回は該当者無し)、奨励賞(今回は伊藤洋介准教授)などは、今迄２号目（冬号）に箇条書きで掲載していた。また、受賞者には 1/3Ｐ原稿を書いて貰っていた。

・東海賞の坂口先生は 30 号の「学生の活躍」に掲載する。

・今年度の技術賞や作品賞等の受賞者は確認する。

・受賞該当者に寄稿してもらってもページ内に収まるので、その内容を充実させれば良いと思う。

・冬号は４Ｐで寄付金のお礼や学会活動の内容を充実させており、夏号はページ数も多い事を理解できた。（浅野）

・アンケート報告はやっていませんか？(山川幹事長)

→オンデマンドで１人だけ質問が有ったが、書く程の内容では無い。その埋め合わせとして、コロナ禍での会議体などの通信手段などの伝達方法で 1/3Ｐは埋めると良い。（浅野）

・ページの頭に佐藤先生にコロナ禍でのオンライン会議の取り組み概要を記載して頂いた後に、「卒業生は今」の５名の紹介とする。

・光鯱会特別講演については、三菱地所設計の二人の事を記載する。

・フレームワークが概ね決まったので誰が依頼をかけるかを決める事とする。

→小野会長、分野長へは佐藤先生、新教員へは佐藤先生か井戸田先生、ＯＢ・ＯＧ交流会へは山川幹事長からダイワハウス木下さんへ依頼、関東・関西支部へは佐藤先生、光鯱会特別講演会の夏目先生へは佐藤先生より依頼をかける事とする。

・スケジュールについては、先回（令和２年：夏号）は７月の幹事会に間に合う様にと、６月の幹事会後依頼をしていたため、原稿依頼者は２週間程度とタイトなスケジュールだった。今回（令和３年夏号）は、この幹事会（5 月度）後から１カ月程度を見込み、6 月 18 日を原稿集めの期限とし、学生幹事の林さんにはその後２週間程度でレイアウトをお願いする事とする。

・佐藤先生に構成案（目次に原稿依頼者を記入して頂いたもの）と原稿（ワード版・PDF 版）の

フォーマットを作成して頂き、幹事にメール配信していただく。その後、原稿依頼者は、執筆者等に原稿作成の依頼をかける事とする。

Ⅱ　その他

・秋の見学会について、工業会の動きが無いか内藤さんに確認した所、役員が総入れ替えし、土木の方となり、見学会の予定は決まっていないので昨年同様急がなくても良いだろうとの事。改めて確認してみるとの事。

・次回幹事会議題内容について

・第３回幹事会　令和３年６月１日（火）18:30～　　場所：Web 開催

（内容）・光鯱会評議員会の振り返り

・光鯱会だより第３０号の内容確認

以上　文中敬称略